

令和4年度事業報告

令和4年度の事業につきまして次のとおりご報告いたします。

1 広報に関する事業

- (1) 社会保険制度の改正内容及び事務手続きなど発行時期に応じたタイムリーな情報を掲載した広報誌「社会保険かごしま」を奇数月に年6回送付すると共に、県内の日本年金機構各年金事務所（以下「年金事務所」という。）及び全国健康保険協会鹿児島支部（以下「協会けんぽ」という。）の窓口にも備え置きました。
併せて当協会のホームページに掲載し、広く社会保険制度の周知を図りました。
- (2) 広報誌「協会だより」を4月に発行し、令和4年度事業計画等を周知しました。併せて当協会のホームページに掲載し、一般の方に対しても情報を提供しました。
- (3) 会員事業所の社会保険事務担当者が円滑に事務手続きを進めることが出来るよう、実務書「社会保険実務の手引き（鹿児島県版）」を作成し、会員事業所に配布しました。
- (4) 毎月、年金事務所及び協会けんぽとの連絡会議を開催し、協会事業の円滑な推進について協力・連携を図りながら取り組みました。
- (5) 当協会ホームページについて見やすさを念頭に整理し、また研修会等の申込みが出来るよう刷新を図りました。

2 研修・相談事業

- (1) 社会保険事務担当者を対象に、社会保険制度やその事務手続き等について理解を深め知識の向上を目指すことを目的に、社会保険労務士等を講師として各地区で「事務研修会」を実施しました。
・事務担当者研修会 33会場 参加者 760名
- (2) 年金事務所の協力のもと、直近1年間に新たに社会保険に加入し初めて算定基礎届を提出する事業所を対象にした研修会において、当協会の取り組んでいる事業を紹介し会員の加入促進に努めていましたが、令和4年度算定基礎届研修会は日本年金機構が中止と決定したため、開催できませんでした。
- (3) 社会保険事務担当者を対象に、年金事務所、協会けんぽ及び社会保険委員会と合同で、年金事務所及び協会けんぽの職員を講師として「社会保険合同実務研修会」を実施しました。
・社会保険合同実務研修会 6会場 参加者 649名
- (4) 会員事業所の社会保険事務担当者を対象に、社会保険労務士を講師として社会保険制度の基礎（公的年金・健康保険労働保険）についてテーマごとに学ぶ「社会保険事務基礎講座」を、令和4年6月から同年11月にかけて月2回（参加率向上のため同一内容）開講しました。また、同年12月には、設問形式で再確認のまとめ研修を行いました。

・社会保険事務基礎講座 14回 参加者 延352名

(5) 会員事業所の社会保険事務担当者を対象に、社会保険労務士を講師として特別基礎講座の「算定基礎届関係」を開講しました。

・特別基礎講座 3会場 参加者 88名

3 福利厚生事業

(1) 医師・保健師等による講習会等

事業主及び被保険者の健康と健全な職場づくりを目的とした、医師・保健師等による生活習慣病予防・改善のための指導講習会や実技指導を会員事業所で行う計画でしたが、要請はありませんでした。

(2) スポーツ大会

被保険者等の健康の保持増進を図ることを目的に、各種スポーツ大会を計画しましたが、コロナ禍でバレーボールは中止としました。

・ソフトボール

鹿児島大会（11月：鹿児島市） 9チーム 参加者 230名

・ボウリング

加治木大会（2月：霧島市） 7チーム 参加者 21名

鹿児島大会（2月：鹿児島市） 6チーム 参加者 18名

川内大会（3月：いちき串木野市） 7チーム 参加者 21名

(3) 脳ドック検診助成

被保険者の疾病の早期発見・早期治療を支援するため、検診費用の一部助成を行いました。（1人3,000円：1事業所6名まで）

・助成金申込者 32名

(4) 施設利用助成

被保険者等の健康増進及び福利厚生を図ることを目的に利用料の一部助成を行いました。

・契約施設利用料の一部助成（1人1泊：1,000円）

利用申込者 16名

・いおワールドかごしま水族館入館料の一部助成

（大人500円、小人300円、幼児100円）

利用申込者 5,628名

4 育成事業

本県社会保険事業の円滑な推進に寄与している鹿児島県社会保険委員会連合会の事業活動に協力し、その活動を支援するとともに年金委員及び健康保険委員の育成を図り、被保険者並びに被扶養者などへの制度の普及と福利の増進に努めました。

5 会議等の開催

会の運営に関する会議を開催いたしました。

・理事会、評議員会の開催 ・各種事業打合せ会等開催